

劇団★ざいたく



〈あらすじ〉

主人公の西塩磯子さん（86歳）は、那須塩原市の某所で一人暮らしをしています。

1か月前に風邪をこじらせて肺炎となり、入院をしていました。やっとの思いで自宅に退院してきて1週間。入院前は元気で自立できていたのに、今ではすっかり足腰が弱り、物忘れも見られて…。身の回りのことは何とかやっているようですが、料理洗濯は失敗や苦勞の連続。持病のお薬の飲み忘れも多く、いつまた体調が悪くなってもおかしくありません。

隣町に住む娘（60歳）がまめに訪ねてきてくれるけれど、娘はまだ現役で、孫の世話もあり忙しく、ずっと世話になるわけにもいきません。

磯子さんとしては、住み慣れた我が家で暮らし続けたいのだけれども、限界かも…？そんな考えが頭をよぎる、今日この頃。そんなある日、誰かが訪ねてきたようです。

多職種連携会議とは？

その名の通り、さまざまな職種（専門職）が参加し、在宅医療・介護の推進を図っています。

地域の人に在宅医療を知ってもらうための活動にも積極的に取り組んでいます。

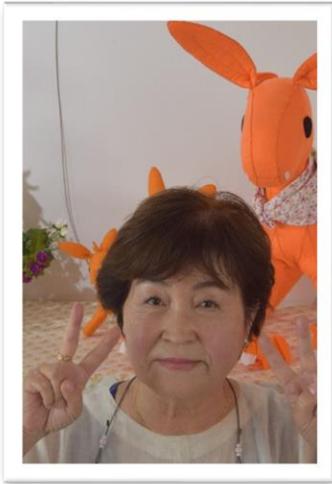
高齢者などが、住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう支援しています。



いつまでも、住み慣れた家で暮らし続けるための在宅医療・介護支援
わたしたちにおまかせください！

劇団★ざいたっく

【出演】



西塩 磯子 (鈴木 理恵子)

那須地区在宅医療介護連携支援センターでコーディネーターを務める。笑温カフェの店主「リエママ」としても活躍。PRソング「みんなの願い」を作詞。



歯科医師 (磯 勝彦)

市内の高砂町で磯歯科医院を経営。那須歯科医師会会長。ギターが得意。かわいいコリー犬を飼っている。



ナレーター/医師 (黒崎 史果)

菅間在宅診療所にて、在宅医療に従事。本日はピアノも担当。PRソング「みんなの願い」では、メインボーカルを務めた。歌も歌えて、ピアノも弾けて、絵も上手で…ほかには何ができるんだろうとあくあくする。



地域包括 支援センター 保健師 (渡邊 恵美)

地域包括支援センターさちの森で保健師として勤務。いつも笑顔でパワフル。たくさんの元気をくれる。



訪問看護師 (秋葉 喜美子)

訪問看護師の経験を経て、現在は国際医療福祉大学で講師として勤務。お裁縫が得意。「ざいた君」のかぶり物は秋葉さん作。



通所リハビリ職員 (永森 基子)

菅間記念病院の言語聴覚士。市では「かみかみ百歳体操」などの指導をしている。



作業療法士 (上祐 学)

菅間記念病院の作業療法士。市では「しゃきしゃき百歳体操」などの指導をしている。



ざいた君

在宅医療・介護PRのためのゆるキャラ。黒崎医師がデザイン。



薬剤師 (田代 孝文)

ひまわり薬局阿波町店に勤務。「嘉門雄三」の名で「NASU WAVE」(ネットラジオ局)にてYouTubeライブをしている。「みんなの願い」の動画作成なども担い、睡眠を削って大活躍してくれている。



ヘルパー (深澤 万理)

訪問介護事業所縁(ゆかり)でヘルパーとして勤務。猫がお好き。

【脚本・監督】

高橋 秀介

菅間記念病院の理学療法士。フレイル予防などに尽力されている。家では薔薇活をしている。すてき。

